

報告第7号

平成30年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、平成30年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算を別紙のとおり報告する。

平成30年6月7日

西脇市長 片山 象三

# 平成30年度事業計画書及び収支予算書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

# 平成30年度事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

我が国の景気の先行きは、海外経済の穏やかな回復が続き、平成30年度の経済財政運営の基本的態度の政策効果もあいまって、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展すると言われている。

平成29年度の地場産業において、「播州織」については、無地・合織へのトレンド、中国におけるスペース余剰、店頭での衣料不振によるアパレルの大量在庫と発注絞り込み等、産地にとって数々の悪条件が重なり生産数量の減少が続く結果となった。ただ、欧州展で先染めトレンドへの回帰が打ち出されたことで、今後に期待するところである。

また、「播州釣針」については、全国の釣具市場で久しぶりに売上が2,000億円台に回復を示したことで、後半の天候不順の影響により悪化はしたものの若干の伸びをみせた。海外輸出については、米国及び中国の市場全体が警戒気味に動いたため停滞状況が続いている。

北播磨地域の地場産業である「播州織」及び「播州釣針」の活性化は地域経済にとって不可欠であり、より一層の振興発展の機会を作ることが必要である。

「播州織」及び「播州釣針」の業界においては、地域ブランドである「播州織」及び「播州毛鉤」の発信に努めるとともに、新商品開発、総合素材展の開催や各種展示会への出展などの事業に取り組み、販路拡大や産地生産体制の維持に努めているところである。

当財団においては、引き続き地場産業振興のための適切な育成支援事業を展開していくため、兵庫県及び地域行政の支援を得ながら、関係業界と連携してより効果的な事業の推進を図る計画である。

本年度の具体的な事業内容は、次のとおりである。

## 記

### 〔公益目的事業〕

北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

#### 1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業（定款第4条第1号）

##### (1) 播州織ブランド新商品試作開発事業

###### ア 事業内容

地域ブランド「播州織」を市場に発信し提案するため、伝統の織技術と最新の加工技術を駆使して新商品の試作開発を行う。

###### イ 実施方法

播州織業界団体から推薦を受けた委員で構成する新商品試作開発委員会を組織し、染・織・加工の技術を駆使した先染めテキスタイルの試作開発を行い、播州織総合素材展で提案し「播州織」ブランド商品の良さをPRする。

## 2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

### (1) 播州織総合素材展事業

#### ア 事業内容

国内の重要な市場である東京で播州織総合素材展2019を開催し、「播州織ブランド」の発信と高品質先染織物の商談を推進して、顧客の安定確保と新規顧客の開拓など販路拡大に努める。

#### イ 実施方法

播州織業界及び地域行政で実行委員会を組織し、事業の企画と実施に当たるとともに、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会との連携により、多くのアパレル、ファッション業界関係者の来場を図る。

#### ウ 実施時期・場所

##### (ア) 播州織総合素材展2019

時 期 平成31年2月

場 所 東京都内

### (2) 播州織ブランド普及振興事業

#### ア 事業内容

播州織の認知とイメージアップを図るため、「播州織」を使用した魅力ある製品づくりを行い、播州織ブランドをPRする。

#### イ 実施方法

播州織ブランド普及振興事業実行委員会（地域行政、業界）を組織し、事業内容の企画検討を行う。

##### (ア) 播州織コレクション事業

デザイナー等と産地が連携して製品の試作開発を行い、ファッションショーによる播州織ブランドをPRする。

ショー開催予定 平成31年2月（場所未定）

##### (イ) ブランド発信PR事業

ブランド専用ホームページによる発信を行う。

### (3) 播州織インターンシップ支援事業

#### ア 事業内容

地場産業とデザイナー等がタイアップし新商品の開発等による打ち出しや、一層の販路拡大を図るために学校や企業等でマ

ーケティングノウハウやデザイン等の専門知識を学ぶ比較的短期間のインターンシップ研修を支援する。

イ 実施方法

産地構成団体を通じて研修希望者を募集し、内容を審査の上、補助金を交付する。

(4) ひょうご地場産業フェア事業

ア 事業内容

県政 150周年を機に、産地間連携の動向を進めるきっかけとするため、ファッション関連（ケミカルシューズ、播州織、皮革、鞆等）の地場産地が一堂に会するフェアを開催し地場産業をPRする。

イ 実施方法

神戸ファッション協会と4産地が協力して、国際フロンティア産業メッセと同時開催する。

ウ 実施時期・場所

(ア) 県政 150周年記念「ひょうごじばさんフェア」

時 期 平成30年9月6日・7日

場 所 神戸市

(5) フォルムプレゼンテーション事業

ア 事業内容

繊維ファッション産学協議会が実施する人材育成事業の一環で、クリエイティブな発想を持つ人材育成を目的とした繊維・ファッション産業界と教育界の共同事業であり、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会との連携事業として、公募により選出された学生等のアイデアを産地とのコラボレーションにより製品を作り上げる。

イ 実施方法

第12回となる今年は播州織産地とのコラボレーションによる事業を実施し、播州織を使った学生・若手デザイナーによるフレッシュなアイデアの研究及び播州織を活用した新商品開発に向けた事業であり、最終製品は11月に実施される「JFWジャパン・クリエーション2019」で展示する。

(6) 播州織ジョブフェア開催事業

ア 事業内容

ものづくりに興味のある若手人材を産地に呼び込むため、昨年度に引き続き、多くのデザイナーやファッション関係の学生

が集まる東京でジョブフェアを開催し、播州織産地や企業の紹介を行う。

イ 実施方法

播州織総合素材展に併せて開催し、播州織産地のPR、企業紹介や人材紹介を実施する。

ウ 開催時期・場所

(ア) 播州織ジョブフェア

時 期 平成31年2月

場 所 東京都内

(7) 播州織相談員事業

ア 事業内容

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織の企業等の競争力強化及び播州織の振興を図る。

(ア) 播州織の競争力強化に関すること。

(イ) 播州織ファッションショーに関すること。

(ウ) 播州織のPRに関すること。

(エ) 播州織の振興に関すること。

(8) 播州釣針地場産業展出展事業

ア 事業内容

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展を行い、市場関係者及び消費者にPRして播州釣針産業への関心を高めるとともに、需要拡大の機会を創出する。

(ア) 播州釣針及び釣針製品の展示

(イ) 毛鉤製作の実演

イ 実施方法

釣針業界で実行委員会を組織して事業の企画を行う。毛鉤製作の実演については、播州毛鉤伝統工芸士を中心に行い、播州釣針及び釣針製品の展示も併せて行う。

ウ 実施時期・場所

(ア) にしわき産業フェスタ

時 期 平成30年11月

場 所 西脇市

(イ) 伝統工芸ふれあい広場

時 期 平成30年11月

場 所 福岡県

(ウ) 国際フィッシングショー2019・横浜

時 期 平成31年 1 月  
場 所 横浜市

(9) 播州釣針普及事業

ア 事業内容

播州釣針のPRと消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、主として家族及び子どもを対象とした釣り大会を実施する。

また、資源保護のため稚魚の放流も行う。

イ 実施時期・場所

(ア) 稚魚の放流

時 期 平成30年 6 月  
場 所 瀬戸内海

(イ) 鮎の毛鉤釣り大会

時 期 平成30年 6 月  
場 所 静岡県 興津川

(ウ) ファミリー海釣り教室

時 期 平成30年10月  
場 所 神戸市

3 地場産業の経営者、技術者の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業

ア 人材育成研修事業

(ア) 事業内容

産地の生産体制維持のための技術継承、産地の魅力を高めるための商品開発力及びPR力育成のセミナー又は講習会を実施する。

(イ) 実施方法

産地業界関係者を対象に、商品企画・開発、ブランドPR戦略、IT活用、技術継承等のセミナーや講習会を年間数回実施する。

〔収益等事業〕

その他の事業

1 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業（定款第4条第3号）

(1) 播州織情報収集事業

ア 事業内容

播州織の生産状況、出荷状況などを迅速に把握し、かつ、産

地内外へ提供することで、情報の共有化と生産の効率化を図る。

イ 実施方法

各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、産地内外に提供する。

提携先 一般財団法人メンケン品質検査協会、業界団体

2 地場産業振興のための調査事業（定款第4条第5号）

(1) 戦略推進事業

ア 事業内容

地場産業である播州織を守るため、平成28年3月に播州織ビジョン委員会から報告された「播州織への提言」の内容について、実行状況を見守る。

また、他産地との交流事業を実施し、他産地の状況を調査する。

イ 実施方法

(ア) 「播州織への提言」実現に向けての状況を見守りつつ、播州織産地の現状を的確に把握し、産地課題の解決と将来像に向けての研究を行う。

(イ) 産地間交流事業については、交流先を調査し、産地業界から希望者を募集し実施する。

3 縫製品PR事業（定款第4条第2号）

(1) 縫製品PR事業

ア 事業内容

にしわき産業フェスタ等で縫製品の展示を行い、関係者及び消費者にPRして需要拡大の機会を創出する。

播州織を使った縫製品を実際に着用しPRする機会を創出する。

イ 実施時期・場所

(ア) 北はりまビジネスフェア

時 期 平成30年10月

場 所 小野市

(イ) にしわき産業フェスタ

時 期 平成30年11月

場 所 西脇市

# 収支予算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	<b>420</b>	<b>418</b>	<b>2</b>
基本財産利息収入	420	418	2
<b>受取補助金等</b>	<b>22,240</b>	<b>18,740</b>	<b>3,500</b>
ブランド力強化促進事業補助金	5,100	5,500	△ 400
マーケット対応力強化事業補助金	2,100	1,700	400
団体補助金	160	160	0
地方公共団体補助金	14,880	11,380	3,500
<b>受取負担金</b>	<b>14,801</b>	<b>14,487</b>	<b>314</b>
分担金収入	14,801	14,487	314
<b>雑収益</b>	<b>56</b>	<b>56</b>	<b>0</b>
受取利息	55	55	0
雑収入	1	1	0
<b>経常収益計</b>	<b>37,517</b>	<b>33,701</b>	<b>3,816</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>27,545</b>	<b>23,420</b>	<b>4,125</b>
謝金	0	70	△ 70
報償費	1,000	0	1,000
旅費	2,266	2,110	156
会議費	65	42	23
通信運搬費	857	737	120
印刷製本費	1,033	1,010	23
消耗品費	658	713	△ 55
研究開発事業費	20	30	△ 10
賃借料	2,239	2,039	200
会場整備費	5,000	3,300	1,700
広告宣伝費	1,280	1,270	10
外注加工費	525	285	240
役員費	260	260	0
原材料費	380	368	12
負担金支出	50	50	0
雑費	5	5	0
支払手数料	17	23	△ 6
繰入金支出	11,890	11,108	782
<b>管理費</b>	<b>9,972</b>	<b>10,281</b>	<b>△ 309</b>
給料手当	6,227	6,468	△ 241
福利厚生費	1,206	1,262	△ 56
通勤費	108	120	△ 12
会議費	20	20	0
旅費	124	124	0
通信運搬費	61	61	0
消耗品費	250	250	0
印刷製本費	40	40	0
賃借料	1,060	1,060	0
共益費	300	300	0
諸謝金	350	350	0
負担金支出	196	196	0
雑費	30	30	0
<b>経常費用計</b>	<b>37,517</b>	<b>33,701</b>	<b>3,816</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	230,932	230,899	33
一般正味財産期末残高	230,932	230,899	33
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	230,932	230,899	33

## 平成30年度業界別事業予算説明

(単位：千円)

業界名	事業名	予算額	備考
播州織業界	播州織ブランド新商品試作開発事業	3,082	
	播州織総合素材展事業	7,075	
	播州織ブランド普及振興事業	5,360	
	播州織インターンシップ支援事業	2,200	
	ひょうご地場産業フェア事業	40	
	フォルムプレゼンテーション事業	40	
	播州織ジョブフェア開催事業	4,589	
	播州織相談員事業	1,000	
	播州織情報収集事業	545	
	戦略推進事業	199	
		小 計	24,130
釣針業界	播州釣針地場産業展出展事業	750	
	播州釣針普及事業	1,115	
	小 計	1,865	
縫製関係	縫製品PR事業	130	
	小 計	130	
共通事業	人材育成事業	1,420	
	小 計	1,420	
合 計		27,545	